

I-B-10

不正子宮出血に対する乱髪霜，芎歸膠艾湯の効果

自治医科大学産科婦人科学教室

○近澤幸嗣郎， 荒木重雄， 玉田太朗

目的 機能性子宮出血は主として内分泌系特に間脳一下垂体一卵巣系の異常によって起こるものと考えられており，その治療法としてはprogesterone・estrogenの併用療法が一般に用いられている。また漢方薬による治療も以前から報告されているが，その効果のメカニズムについては不明である。そこで機能性子宮出血と診断がついた3名の婦人に漢方薬を投与してその作用機序について検討した。

対象 不正子宮出血を3周期以上繰り返す婦人を対象とし，細胞診，組織診にて器質的疾患のないことを認めた3例に対し，乱髪霜芎歸膠艾湯を投与し，投与前後の血液所見，子宮内膜，estradiol (E₂)，progesterone (P)値を比較検討した。

結果 2例は芎歸膠艾湯にて改善し，1例は乱髪霜にて改善した。投与前後の出血時間，凝固時間，血小板，PT，PTT等には変化はみられなかった。黄体期におけるE₂，Pの改善が2例に認められ，基礎体温の改善が1例にみられた。同時に採取した子宮内膜の所見では，投与後正常な分泌期像が認められた。

考察 漢方薬投与前後のホルモン値，および子宮内膜の所見から，内分泌系の正常化により機能性子宮出血が改善したことが示唆された。

結論 乱髪霜，芎歸膠艾湯は単に止血剤としての作用のみでなく，内分泌系にも影響を与えることが明らかとなった。